

平成25年度事業計画(案)について

1. 事業方針について

我々を取り巻く医療環境は、平成24年度も厳しくなると予想されます。 昨年は、長期化した経済不安と災害による景気停滞で私たちを取り巻く生活・健康への不満がつのる一年でした。また、年末の衆議院選挙により民主から自民への政権交代がありました。これからの医療費抑制政策や年金問題など国民は今後の生活に不安を抱きながらも明るい生活を望んでいます。

公益法人制度改革による法律の施行以来4年3カ月が過ぎました。当会においても社団法人として20年目を迎えています。私たちに技師会運営を考えながら検査技師会の活動は、公益法人とはいえ検査技師のための職能団体としての活動が中心であります。平成23年度総会決議により一般社団法人に移行申請することになり、平成24年度は、一般法人申請に向けて法人化対応部が中心になって準備してきました。

さて、平成25年度事業方針を申し上げます。

「岐阜県臨床検査技師会への5つの提言」に従い節約を念頭に執行してまいりましたが、平成25年度は、更に、会員皆様のための技師会活動を目指していく所存でございます。

岐臨技の法人化申請は、平成23年度本総会において定款変更を承認いただき、平成24年度第1回定期総会（決算総会）で平成23年度決算の承認をして頂きました。その後、一般法人として県へ申請するための準備をしています。一般法人の登記後に、一般社団法人定期総会を開催する予定です。

学術部門では、医療の質への転換、日臨技の部門を鑑みながら各研究班主催の研修会・講習会を生涯教育の場として会員のために一層の充実を諮っていきます。

関連学会は、第62回日本医学検査学会（平成25年5月18日～19日 サポートホールで開催）、平成25年度日臨技中部圏支部医学検査学会 第52回（平成25年11月23日～24日 三重県総合文化センター）が開催されます。岐臨技会員の多数のご協力・参加をお願いします。

精度保障事業部精度管理調査は、平成24年度の精度管理調査の実績、標準化事業の実績を基に平成25年度もさらに充実したものにしたいと考えております。また、精度保障施設認証制度については、22年度11施設、23年度1施設、24年度4施設でした。平成25年度はさらに多くの施設が申請していただくように努力したいと思います。

関係団体への働きかけとして、県医師会の精度管理事業に対する活動が大きな意味を持つことが解りましたが、平成24年度より精度管理データ集計・解析方法がWeb上で実施され、全国統一の集計・解析方法となったため、今回の精度管理報告書をもって、県医師会精度管理調査に対して鋭意努力する予定でございます。

渉外部門では、会員名簿、岐阜県臨床検査技師会誌、岐臨技会報を会員への情報提供の手段として取り組みたいと思います。資料館については、引き続き岐阜医療科学大学で検査機器の展示を行って運営したいと思います。

岐臨技会報・ホームページは、会員の皆様にとって最新の情報となるよう運営したいと思います。また、携帯ホームページは、スマートフォン対応にすることと、研究班活動のリンクなど充実したものを考えています。

以上、主な事業について提案事由を提示させていただきました。詳細については各担当部門から提案していただきます。

2. 事業計画について

- ①一般社団法人認可への最終準備・申請
- ②精度管理保障部事業の推進
- ③研修会、研究会、講習会の開催
- ④関連学会への積極的な支援
- ⑤岐阜県臨床検査技師会誌の発行
- ⑥岐臨技会報の発行
- ⑦岐臨技ホームページの充実
- ⑧地域保険事業への積極的な参加
- ⑨組織の実態調査
- ⑩日臨技公益事業活動への参加